

遙か向こうの空の彼方から

★少しだけ冷たい空気

★少しだけやさしい空気★

遙か向こうの空の彼方から

季節変わる風がやってきた

夏の名残 窓かに抱え

街をそっと撫でる

気づいた時 もうそこには

楽しい日々 置き去りにされ

誰かを呼ぶのでなく

何かを忘れたまま

季節のこの扉をたたき

その風ただ通り過ぎる

これから訪れる 秋の気配が

★～★

人々の影 細く揺らして

どこか遠い記憶 運してくる

夕暮れ ひとしづく混ぜたような

輝き ぶたの裏に

気づいた時 もうそこには

この心だけ 置き去りにされ

誰かを探すのでなく

何かをなくしたまま

この季節の扉をたたき

ただその風は通り過ぎる

秋の始まりを そっと受け止める

★～★